

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

黒島に住んでみて

こんにちは。地域おこし協力隊黒島担当の居原です。
地域おこし協力隊に着任して、あっという間に7か月が経ちました。
黒島での生活は不便で、でも豊かなものです。島内のイベントは島の人々が一つになって盛り上げています。
私は37年ほど、長崎県を離れていたため、月に一度は島を出て、他の地域を見て回ったりしています。特に島の生活を比べてみたくて、島を多く回りました。それぞれの島に特徴を感じました。

▼ 崎戸から黒島を望む



- (隣の) 高島…漁村を中心とした島らしい島。集落が一つに集中している。
- 平戸島…教会が多く、一度に巡ると混乱。土地が広いので、キリスト教信仰と自然の両方が多い。
- 生月島…平戸と同じく、キリスト教信仰と自然が多いが、島が南北に長いいためか、景観が良く、観光が活性化している。『島の館』が羨ましい。
- 壱岐の島…大きい黒島という印象。複数行政区が一つになったからか、あちこちに人が住んでいる漁業の島。
- 伊王島…長崎市民の憩いの場として開発が進んでいる。橋で繋がっているためか、島の生活を感じない。
- (長崎市の) 高島…炭鉱の島。日本遺産を有しているが、フェリーに乗っている人のほとんどは軍艦島ツアー目的。道路が広いため、だんじくが伸びているのに覆われない。循環バス2台あるのも羨ましい。
- 大島・寺島・崎戸…寺島・大島には仕事と生活が充分にあるため島感が薄い。崎戸は風光明媚な自然豊かな島。



▲ 生月島の大バエ灯台



▲ 落雷後の壱岐の島の虹



▲ 大島大橋

私の業務について

地域おこし協力隊としての私の主たる業務は観光振興です。ですので、毎週、金・土・日・月曜日はウェルカムハウスに勤務しています（祝日はお休みさせていただいています）。

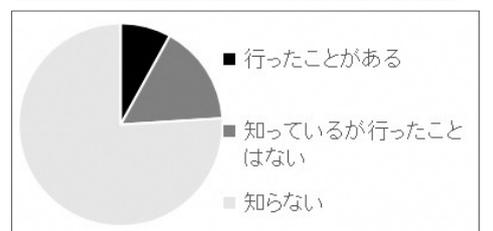
10月の長崎くんちの期間に行われる『長崎大縁日』に黒島観光協会として出展し、黒島のことをピーアールしてきました。が、ブースで待っていても誰も来てくれない。なので、こちらから、「佐世保市の黒島を知ってますか？」と聞いて回りました。約50人の方とお話しさせてもらった結果が右図のグラフです。黒島は認知度が低い。でも、知っている人の訪問率は高い。

私もこの春まで黒島を知りませんでした。黒島は島だけでなく他の地域と比べても他にはない特徴を持った地域だと思います。

つまり、観光のポテンシャルは高い！と思うんです。

それは、天主堂を中心として、信仰の歴史を今でも感じることができる集落構成ではないかと思っています。

今後、黒島の認知度向上を図りながら、どのような人が訪問してくれ、黒島の経済に貢献してくれるのかを探っていきたいと考えています。





11月9日から、公共ライドシェアの実証実験を行っています。実証期間中は、無料配布のチケットでご乗車いただけます。チケットはお手持ちが無くなれば、黒島ウェルカムハウスにて配布しています。

二次運行日がなかなか決まらず、ご利用の方にはご迷惑をお掛けしました。12月24日から再開しています。新年は、1月5日から運行しています。

一度は、

乗ってみてください。

■ 運行予定日

・ 11月9日～11月30日 ・ 12月24日～1月16日

※12月30日は15時までの運行となります。

※12月31日～1月4日は運休します。

※上記期間は予定のため、変更となる場合があります。

■ 運行時間

運行時間	予約締切
6時00分～10時00分	前日12時00分（正午）まで
10時00分～15時00分	当日30分前まで
15時00分～18時30分	当日12時00分（正午）まで

■ ご予約・お問い合わせ先

黒島ウェルカムハウス（0956-56-2311、毎日9時～17時受付）

協力隊へお手紙をください！

黒島には、「もっとこんな良いところがある！」とか、「将来はこんな黒島がいい！」とか、「黒島でこんなことをやってみたい！」とか、「こんなところで、こんな観光ピーアールしてほしい！」とか、子どもさんやお孫さんのためにも、「黒島が、どうあれば良いか?」、「今、どうしたら良いか?」など、地域おこし協力隊にお手紙をくれませんか? 参考にさせていただき、何かしらの行動につなげます。

黒島ウェルカムハウスにお届けください。協力隊ポストを用意しておきます（すみません、これ書いている時点では、写真が間に合わなかった）。名無しでも結構です。できれば、年齢と性別くらいは書いていただけると助かります。

ぜひ！よろしくお願いします。



編集 後記

『地域おこし協力隊通信』が約3か月に1度の季刊発行となりました。忘れずにお付き合ください。

右の写真は、昨年11月に十数年ぶりに妹と甥と実家で会ったときの様子。我が家の2歳児シドは初めまして。だからか、ヨソ行きのおすまし顔で懐いたフリをしてました。私は妹親子を羨ましく見てました。

年末にこの原稿を書いてますが、私も正月は5か月ぶりの妻娘と過ごして、家族って良いものだなあと思っているはずです。

本年も、よろしくお願ひいたします。（居原）